

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

中野区 体調不良でオーバーラン 乗務中断3年間で約40件



「原因不明」の体調不良が続発
乗務員の体調不良によるオーバーランとその後乗務中断が続発しています。特に中野電車区で過去3年間で約40件も発生し、当該の運転士は20〜40代の約30人。持病などもなく、「記憶があいまい」「意識がもうろう」「視界がぼやけた」と訴えています。なぜ中野電車区でこれだけ続発したのか、具体的な原因ははっきりしていません。会社は、オーバーランが中野電車区で多く発生していることは認めつつ、「原因は個々の運転士で異なる」「業務融合化やジョブローテーションなどは）中野電車区に限った

ことではない」と説明しています。
業務融合化ただちに撤回を
しかし、間違いなく、背景には業務融合化やジョブローテーションなど、乗務員をないがしろにする施策があります。
乗務員は不規則な勤務の中で、多くの乗客を乗せて鉄道の安全を守っています。それにも関わらず会社は業務融合化を進め、乗務員の仕事を「片手間」扱いつつきました。
また、ジョブローテーションによる不当な強制配転が続いています。「いつ自分が配転されるのか」「生活設計も立てられない」という状況が作られています。
乗務員への負担はこれまでに大きくなっていきます。報道では、「疲労やストレスの蓄積に気づけなかった」という乗務員の声も紹介されています。体調不良や乗務中断が続発し、そのまま病院に救急搬送されたケースも発生しています。
*
事態は深刻です。乗務員の命と健康に関わる問題であり、重大事故につながりかねない状況です。業務融合化・ジョブローテーション、乗務員への労働強化はただちに撤回されるべきです。